



西合志中学校2年生が立志式 地域探索会で学び“志”立てる

3月17日、西合志中学校2年生が立志式のイベントとして、地域のルーツをたどる探索会を行いました。学校を出て市内複数の文化財を歩いて巡り、市の学芸員による解説を聞きました。

1カ所目の二子山石器製作遺跡では、遺跡の環境や立地、どのような点に価値があるのか説明を聞いた後、自由に遺跡内を探索しました。2カ所目の合志義塾跡では、塾創設当時の社会的背景や

教育内容について学びました。生徒たちは、真剣に話を聞き、疑問点について質問するなど、本市の歴史や文化について学びを深めていました。

参加した生徒は「今のように誰でも学校に通えない時代があったことを知りました。恵まれた環境にいる私たちが何をできるのかしっかり考えたい」と学びや将来への想いを新たにしました。



二子山石器製作遺跡にて



合志義塾跡にて

『広域交流拠点構想』の実現を目指します

●問い合わせ先
秘書政策課 ☎096-248-1028

構想の概要

市では、農業・食をテーマとして想定し、これらに関する観光・商業機能などを持つ新たな拠点を整備し、人が集うことができる場を作る『広域交流拠点構想』を進めています。

構想では農業・食の体験施設や、地域の野菜を使ったレストランなど市の基幹産業である農業を活かしたコンテンツを充実させます。

また、アウトレットモールやスポーツ施設など、市内外の人が家族や友人と余暇を楽しめる拠点づくりを目指しています。



構想のイメージ図

構想の背景

北熊本スマートインターチェンジが平成31年に開通し、高速道路が利用しやすくなったことに加え、新たに中九州横断道路のインターチェンジが市内に2カ所建設される計画があり、九州全域からの交通のアクセス性が向上します。

また、半導体関連企業が菊池地域に集積することに伴い、市では今後も人口の増加や地域経済の発展が期待されます。

市には観光や商業のシンボルとなる施設が少ないことから、これらの機会を活かし、市民の皆さんの生活をより豊かにするとともに、国内外からさまざまな人が交流できる拠点を整備することで、交流人口の増加と地域経済のさらなる発展に繋がりたいと考えています。

市民・県民の皆さんには、本構想についてご理解いただき、実現に向けてご協力をお願いします。



『広域交流拠点構想』
市ホームページ